

# 1. 平成 20 年度（第 32 回）通常総会（平成 20 年 4 月 18 日）

## 1 - 1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会  
会長 津上 昌平



ただいま紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の平成 20 年度第 32 回通常総会の開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、また足元の悪い中をたくさんの会員の方にお集まりいただいております。また、ご来賓といたしまして、監督官庁である千葉県計量検定所よりこの 4 月に着任されました米谷所長様にお運びいただいております。本日ここにお集まりいただきました多数の方々に、協会を代表いたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、新年度となり会員各社におかれましては、新入社員を迎えられるなど新たな気持ちで活動されているかと思えます。今年度は 7 月に予定されている洞爺湖サミットや、8 月の北京オリンピックなど日本、アジアが世界の注目を集める年になると考えられます。経済問題や人権問題と共に、特に地球温暖化に代表される地球環境問題については、これから取り組むべき大きなテーマとして広く認識されております。環境測定・分析を生業とする私たちにとっても、今後も社会に貢献する機会がますます増えていくと考えられます。

千葉県環境計量協会では、昨年総会において協会規約の一部改正を行い、県単レベルとしては全国的にも初めてと思われる「倫理綱領」を制定いたしました。企業または技術者個人として、環境計量の重要性を十分に認識して、分析の精度管理、技術の向上のために、これからも地道な努力を続けていくことが必要であると、私は認識しております。

本日はこれから第 32 回目となる通常総会を開催いたします。平成 19 年度の事業報告、収支決算、平成 20 年度の事業計画、収支予算案につきましてご説明し、ご審議いただく予定です。また、今回は二年毎の役員改選期にあたり、新しい役員の選任についてご審議いただきます。ここで予めお伝えしておきますが、今回の総会をもって私津上は千環協の会長を辞することになりました。平成 14 年に前任の名取会長の後を受け、この伝統ある千環協の第 9 代会長として、3 期 6 年間会長職を務めさせていただきました。一緒に活動していただいた役員及び事務局の方をはじめ、会員の皆様の絶大なるご支援とご協力をいただき、また計量検定所をはじめ日環協他関係機関の方々からも多大なるご指導、ご鞭撻を賜り、微力ながら何とか会長としての責務を全うすることができたと考えております。

私の在任期間におきましては、協会ホームページの開設や、委員会の見直しなど行いましたが、何よりも平成 18 年に実施した協会の 30 周年記念事業が最大のイベントでした。記念事業として協会のシンボルマークの公募、制定や 100 名以上の方にご参加いただき盛大に開催した記念式典、また記念誌の発行など、私にとってひとつひとつが大切な思い出となっています。

今回の総会を最後に千環協会長として協会活動には携わることはなくなりますが、この 6 年間の経験を生かして、一会員、一個人として今後も皆様のお役に立ちたいと考えております。本日は退任の挨拶を含めて開会の挨拶とさせていただきます。長い間、皆様まことにありがとうございました。